

いろいろ

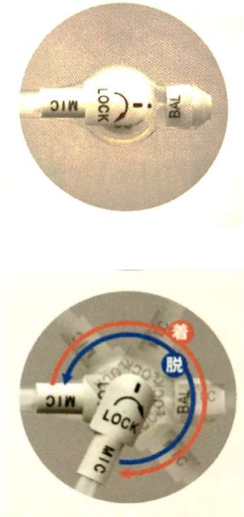
## 胃瘻

口から食事が摂れなくなったり、飲み込む力が弱くなった時に、おなかから胃にかけて造る小さな穴のこと。専用の器具(チューブ)を取り付けて、直接胃に栄養や水分、薬などを入れることができる。

### 必要物品

- 胃瘻チューブ(カテーテル)
- 栄養ボトル(栄養管含む)
- 注入器(カテーテルチップシリンジ)
- 後押し用の白湯
- 計量カップ

#### ① 接続チューブの着脱方法

手順	留意点	
<p><b>ボタン型</b></p> <p>1) 胃瘻ボタンの黒い線と接続チューブの黒い線を合わせて差し込む。</p> <p>2) 軽く手ごたえ(ロック)が感じられるまで(約 3/4 回転)時計回りに回す。</p> <p>3) 外すときは反時計回りに回して、胃瘻ボタンと接続チューブの黒いラインを合わせてから外す。</p> <p><b>チューブ型</b></p> <p>接続ポートに栄養ラインまたはシリンジを 1/4 程度回しながら押し込みます。</p>	<p>強く回しすぎると爪が折れて、ロックできなくなるので注意が必要。</p> <p>油分などが付着していると外れやすくなるので清潔に管理する。</p>	

## ② 胃瘻栄養の方法

手順	留意点	
<p>1)手を洗う。</p> <p>2) 子どもの状態にあった体位にする。体調に変わったことがないか確認する。 ※チューブ型の場合は(4)に進む</p> <p>3)胃瘻がボタン型の場合は、ボタンに接続チューブを接続する。</p> <p>4)チューブから注入器で吸引して、胃の内容物がでないか確認する。</p> <p>5)チューブへ白湯を5ml 程度フラッシュ(チューブへ注入器で一気に注入する)してから、チューブと栄養管を接続する。</p> <p>6)子どもに合わせた速度で栄養剤や水分の注入を始める。</p> <p>7)注入が終わったら、10-15ml (学童期以上で水分制限のない場合は通常20-30ml)の白湯をフラッシュして、チューブの中を洗い流す。</p> <p>7)後片付け</p>	<p>誤嚥(よだれなどが気管に垂れ込むような症状)がなければ、身体を起こす。誤嚥がある場合は、上体を起こさずに横向きで注入する。</p> <p>体調は、以下の点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱はないか。</li> <li>・機嫌はどうか。</li> <li>・呼吸は早くないか、ぜこぜこしていないか。</li> <li>・脈の速さはどうか。いつもと同じか。</li> <li>・お腹は張っていないか。</li> </ul> <p>・胃の内容物の性状がきれいなものはそのまま戻す。胃の内容物がたくさん引けたり、濃い黄色・緑色・血の塊・茶色のものなどが引けたときは家族に伝え、医師に相談してもらう。</p> <p>・空気が引けたときは、戻さずに、空気だけ引ききってしまう。</p> <p>・注入中は、体調に変化がないか、滴下速度に異常がないか、胃瘻や接続部分に漏れがないか、時々確認する。</p> <p>・注入が終わっても30分-1時間はそのままの体位でいるようにする。</p>	

<p>栄養ボトルと注射器(シリンジ)、接続チューブは中性洗剤で洗いよくすぎ、洗浄後はよく乾燥させておく。注射器(シリンジ)の内筒を外して洗う。</p>	<p>・注射器(シリンジ)の外筒や栄養ボトルはコップ用のスポンジを使用すると、なかまできれいに洗うことができる。栄養管は、なかに熱めのお湯を流すと、栄養剤に含まれる油分が落ち、きれいに洗える。</p> <p>・ボタン型の胃瘻の場合は、チューブブラシを使って接続チューブの中の汚れもきれいに洗う。</p>	
---	---	--

### ③ 半固形流動食(ミキサー食)の注入方法

手順	留意点	
<p>1)手を洗う。</p> <p>2) 子どもの状態にあった体位にする。※チューブ型の場合は(4)に進む</p> <p>3)胃瘻がボタン型の場合は、ボタンに接続チューブを接続する。</p> <p>4)チューブから注入器で吸引して、胃の内容物がないか確認する。</p> <p>5)半固形栄養剤(ミキサー食)を注入器で吸う。</p> <p>6)注入器を胃瘻注入用のチューブに接続する。この際に、左手で接続部を、右手で注入器をしっかり持つ。</p>	<p>・胃の内容物の性状がきれいなものはそのまま戻す。胃の内容物がたくさん引けたり、濃い黄色・緑色・血の塊・茶色のものなどが引けたときは家族に伝え、医師に相談してもらおう。</p> <p>・空気が引けたときは、戻さずに、空気だけ引ききってしまいましょう。</p> <p>・使用する注入器(シリンジ)の、内筒のすべりを確認しておく。ゴムが劣化して、ゴムの破片がとれてくるようであれば使用しない。</p> <p>・滑りが悪い場合は、食用油を内筒の内側のゴムに塗っておくと滑りがよくなる。</p> <p>・注入器と</p>	

<p>7)注入が終わったら、10－15ml（学童期以上で水分制限のない場合は通常20－30ml）の白湯をフラッシュして、チューブの中を洗い流す。</p>	<p>・注入が終わっても30分－1時間はそのままの体位でいるようにする。</p>
<p>7)後片付け</p> <p>栄養ボトルと注射器（シリンジ）、接続チューブは中性洗剤で洗いきれすぎ、洗浄後はよく乾燥させておく。注射器（シリンジ）の内筒を外して洗う。</p>	<p>・注射器（シリンジ）の外筒や栄養ボトルはコップ用のスポンジを使用すると、なかまできれいに洗うことができる。栄養管は、なかに熱めのお湯を流すと、栄養剤に含まれる油分が落ち、きれいに洗える。</p> <p>・ボタン型の胃瘻の場合は、チューブブラシを使って接続チューブの中の汚れもきれいに洗う。</p>

## こんなときはどうする？

### Q 胃瘻チューブが抜けてしまったらどうすればいいの？

胃瘻が閉じないよう、予備の胃瘻チューブを挿入します。抵抗を感じる時は無理に入れる必要はありません。新しい胃瘻チューブが抜けないようにテープなどで固定してください。抜けたときの対応を家族に確認しておきましょう。

### Q 胃瘻チューブが詰まってしまったら？

どこが詰まっているのか、胃瘻チューブやチューブをよく観察しましょう。白湯を吸った注入器（カテーテルチップシリンジ）をつないで、チューブを指でマッサージしながら、ゆっくりシリンジの内筒を押し引きするイメージで動かします。接続チューブの場合は、接続部位で詰まっている可能性もあるので、接続チューブをボタンから外して白湯でフラッシュしたり、ブラシで洗い流してみましよう。

栄養剤が濃かったり、お薬が多いと詰まりやすくなるので、注入時は白湯でよく流しておくといいです。

### Q 胃瘻から胃液や栄養剤が漏れてきたら？

お腹が張っている場合は、空気を抜きます。必要であれば浣腸をしてお腹の張りをとりましよう。また、緊張をしていると腹圧がかかるため、緊張を和らげるよう環境を整えましよう。

胃瘻と胃瘻チューブの隙間から漏れている場合、胃瘻ボタンから漏れてくる場合は、サイズが合っていないことや胃瘻ボタンの弁が閉じないことが原因であるため家族にお伝えし、医師に確認してもらいましよう。

### Q ミキサー食はどうやって用意するの？

食事は家族と一緒にのものや給食で大丈夫です。料理に適した器具（ミキサーやハンドミキサー、フードプロセッサ）を使って食事をミキサーしてください。食事の固さは、「ヨーグルトからマヨネーズ」程度にします。必要

であればとろみ剤を使用して調整してください。温度は常温から人肌くらいがいいでしょう。  
ミキサー食は 1ml あたり 0.8～1kcal くらいです。

#### **Q 半固形食やミキサー食を注入して苦しそうにしていたら？**

液体の栄養剤を長期間使用していた場合は、一度に入る量が少なかったこともあり、もともと注入していた液体の注入量と同量の、半固形栄養剤やミキサー食を注入すると苦しがることがあります。慣れるまで休み休み時間をかけて注入してください。また分割して注入します。